

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	カノンラボ弱酸性次亜ウオーター
会社名	株式会社クリーンコーポレーション
住所	〒064-0922 北海道札幌市中央区南22条西6丁目2-25 エムズ南22条第3ビル 4階
連絡先	電話番号:011-551-3250 FAX番号:011-551-3224 緊急連絡先:011-551-3250

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分外
自然発火性液体	区分外
健康有害性	
急性毒性(経口)	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
環境への影響	データなし

※上記で記載がない危険有害性は分類対象外か分類できない。

シンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害情報	酸性物質と接触すると塩素ガスが発生する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合分の区分	混合物
成分・官報公示整理番号	
次亜塩素酸ナトリウム(0.1%以下)	
化審法	1-237
CAS番号	7681-52-9
塩酸(0.1%以下)	
化審法	1-215
CAS番号	7647-01-0

4. 応急措置

吸入した場合	大量に吸入した場合は、新鮮な空気の風通しの良い場所に移動して安静にする。
皮膚に付着した場合	流水で洗い流す。
目に入った場合	流水で洗い流す。何らかの異常を感じたときは医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄する。

5. 火災時の措置

消火剤	水。炭酸ガス、酸性の粉末消火剤は使用しないこと。
使ってはならない消火剤	特になし。
消化方法	本製品は不燃性物質であるが、周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時処置	眼鏡、手袋、マスクなど適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項、 回収、中和	雨水溝、河川、海上などに大量に排出されないように注意する。 多量の水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 塩素ガスが発生する危険があるため、酸性物質と接触させない。
保管 直射日光のあたる場所や高温多湿な場所を避けて、冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 設定されていない。
管理濃度 設定されていない。
許容濃度 設定されていない。
保護具 必要に応じて保護眼鏡、ゴム手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状 液体
色 無色透明
臭い 微かな塩素臭
引火点 不燃物
pH 5.5~7.5
溶媒に対する溶解性 水とどんな割合でも混合

10. 安全性及び反応性

安全性 含有している次亜塩素酸は徐々に分解し、特に高温下・射光下では分解が促進される。金属あるいは有機性物質との共存下では分解が加速される。
反応性 次亜塩素酸を含有しているため、酸性物質と反応し塩素ガスを発生する。還元剤と反応すると有効塩素が中和され、除菌効果が失われる。
避けるべき条件 酸性物質との接触、40℃以上の高温下での保管、直射日光、開放状態
混触危険物質 酸性物質、還元剤
危険有害な分解生成物 酸性物質との反応により発生する塩素ガス

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口	区分外
	: 経皮	データ不足の為、分類できない。
	: 吸入（蒸気）	データ不足の為、分類できない。
	: 吸入（粉じん・ミスト）	区分外
皮膚腐食性・刺激性		区分外
眼に対する重篤な損傷・刺激性		区分外
呼吸器感作又は皮膚感作性		データ不足の為、分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足の為、分類できない。
発がん性		データ不足の為、分類できない。
生殖毒性		データ不足の為、分類できない。
特定標的臓器・全身毒性一単回暴露		データ不足の為、分類できない。
特定標的臓器・全身毒性一反復暴露		データ不足の為、分類できない。
吸引力呼吸器有害性		データ不足の為、分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性
魚毒性 : 水生毒性（急性）データ不足の為、分類できない。
: 水生毒性（慢性）データ不足の為、分類できない。
残留性 / 分解性 データなし
生体蓄積性 データなし
土壌中の移動性 データなし
オゾン層への有害性 データなし

